



## 2022年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月29日

上場会社名 株式会社三ツ知 上場取引所 東・名  
 コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 和志  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 村越 康幸 (TEL) 0568-35-6350  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年6月期第1四半期の連結業績(2021年7月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	3,105	25.5	157	—	165	—	128	—
2021年6月期第1四半期	2,474	△30.5	△143	—	△56	—	△26	—

(注) 包括利益 2022年6月期第1四半期 63百万円(26.8%) 2021年6月期第1四半期 49百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	50.70	—
2021年6月期第1四半期	△10.47	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	16,149	8,576	53.1
2021年6月期	17,009	8,630	50.7

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 8,576百万円 2021年6月期 8,630百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	6.00	—	49.00	55.00
2022年6月期	—	—	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	38.00	—	26.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日~2022年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,904	—	430	—	431	—	328	—	129.79
通期	13,409	—	706	—	714	—	544	—	215.08

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記予想については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期1Q	2,652,020株	2021年6月期	2,652,020株
② 期末自己株式数	2022年6月期1Q	120,764株	2021年6月期	120,764株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期1Q	2,531,256株	2021年6月期1Q	2,531,404株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、ワクチン普及に伴う行動制限緩和により景気回復が進展する先進国と、ワクチン普及の遅れや医療ひっ迫等のため景気回復に遅れが生じる新興国などで二極化が進む中、先進国間でもワクチン普及状況や医療提供体制、経済対策等の地域差があり景気回復ペースにばらつきが出ております。

当社グループの主要取引先であります自動車部品業界におきましては、世界的に新車需要は回復傾向にあります。完成車メーカーの生産が供給制約もありコロナ禍前の水準に戻らず、とりわけ東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大や半導体不足が大きく影響し、得意先での生産調整が続いている状況です。

このような経営環境の中、当社グループでは、経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の第1年目として、対処すべき課題の解消に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、すべてのセグメントにおいて前年同期より受注が増加し、売上高は31億5百万円（前年同期比25.5%増）となりました。利益面につきましても、売上増による利益の増加及び原価低減によるコスト削減に努めた結果、営業利益は1億57百万円（前年同期は1億43百万円の営業損失）となりました。また、経常利益は1億65百万円（前年同期は56百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億28百万円（前年同期は26百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高は4億92百万円、売上原価は4億97百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

新型コロナウイルス感染症の影響があった前年同期に比べ得意先からの受注は増加し、売上高は25億87百万円（前年同期比12.8%増）となりました。利益面につきましても、営業利益は1億24百万円（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

#### ②米国

新型コロナウイルス感染拡大による一時期の稼働停止があった前年同期に比べ受注は回復し、売上高は2億80百万円（前年同期比138.8%増）となりました。利益面につきましては、増収はあったものの、固定費を賄えず、13百万円の営業損失（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

#### ③タイ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で受注が減少した前年同期に比べ、受注は回復し、売上高は4億88百万円（前年同期比143.1%増）となりました。利益面につきましても、増収効果と原価低減によるコスト削減に努めた結果、営業利益は33百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

#### ④中国

得意先からの受注が増加し、売上高は1億60百万円（前年同期比64.4%増）となりました。利益面につきましても、増収効果により、営業利益は8百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億60百万円減少し、161億49百万円となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ6億90百万円減少し、96億87百万円となりました。また、固定資産については、建物及び構築物の減少、機械装置及び運搬具の減少等により前連結会計年度末に比べ1億69百万円減少し、64億61百万円となりました。

負債の部では、流動負債が支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億97百万円減少し、42億91百万円となりました。また、固定負債については、長期借入金の減少、社債の減少等により前連結会計年度末に比べ4億8百万円減少し、32億80百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少し、37億29百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額4億82百万円、減価償却費1億84百万円による資金増があり、一方で仕入債務の減少額1億99百万円、法人税等の支払額1億77百万円等による資金減により、2億79百万円の収入(前年同期比29.8%減)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入39百万円等による資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出65百万円等による資金減により、30百万円の支出(前年同期比81.3%減)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出2億62百万円、配当金の支払額1億20百万円、社債の償還による支出1億4百万円等の資金減により、5億円の支出(前年同期比47.5%増)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2021年7月30日に公表いたしました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,315,996	3,999,208
受取手形及び売掛金	2,567,867	2,116,719
電子記録債権	876,822	837,543
棚卸資産	2,414,288	2,505,895
その他	203,285	228,311
流動資産合計	10,378,260	9,687,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,586,923	1,559,386
機械装置及び運搬具(純額)	2,412,241	2,323,084
土地	1,549,243	1,544,992
リース資産(純額)	205,689	197,216
建設仮勘定	45,183	38,453
その他(純額)	142,631	132,883
有形固定資産合計	5,941,911	5,796,016
無形固定資産		
のれん	120,316	115,688
その他	106,231	95,969
無形固定資産合計	226,548	211,658
投資その他の資産		
投資有価証券	209,320	191,062
その他	253,597	262,605
貸倒引当金	△220	—
投資その他の資産合計	462,698	453,667
固定資産合計	6,631,158	6,461,342
資産合計	17,009,418	16,149,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,240,859	1,059,475
電子記録債務	868,505	843,520
短期借入金	500,000	500,000
1年内償還予定の社債	209,280	219,280
1年内返済予定の長期借入金	942,985	930,067
リース債務	42,699	40,064
未払法人税等	186,101	74,212
賞与引当金	6,723	103,572
役員賞与引当金	11,955	4,080
その他	680,757	517,687
流動負債合計	4,689,869	4,291,959
固定負債		
社債	373,960	259,320
長期借入金	2,860,957	2,609,912
リース債務	163,344	156,124
役員退職慰労引当金	17,923	16,201
退職給付に係る負債	72,568	70,951
その他	200,318	167,887
固定負債合計	3,689,071	3,280,398
負債合計	8,378,940	7,572,358
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	7,398,038	7,409,343
自己株式	△134,508	△134,508
株主資本合計	8,273,860	8,285,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,005	15,996
為替換算調整勘定	327,612	275,501
その他の包括利益累計額合計	356,617	291,497
純資産合計	8,630,478	8,576,662
負債純資産合計	17,009,418	16,149,020

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,474,335	3,105,920
売上原価	2,220,532	2,473,730
売上総利益	253,802	632,190
販売費及び一般管理費	397,119	474,285
営業利益又は営業損失(△)	△143,316	157,904
営業外収益		
受取利息	2,030	2,073
為替差益	—	5,674
その他	101,926	11,223
営業外収益合計	103,956	18,972
営業外費用		
支払利息	7,616	7,618
為替差損	2,911	—
その他	7,074	3,717
営業外費用合計	17,603	11,336
経常利益又は経常損失(△)	△56,962	165,540
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,962	165,540
法人税、住民税及び事業税	△5,156	66,744
法人税等調整額	△25,295	△29,531
法人税等合計	△30,452	37,213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,510	128,326
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,510	128,326



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,510	128,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,576	△13,008
為替換算調整勘定	71,770	△52,111
その他の包括利益合計	76,346	△65,120
四半期包括利益	49,836	63,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,836	63,206
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,962	165,540
減価償却費	173,373	184,886
のれん償却額	—	4,627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△220
賞与引当金の増減額(△は減少)	64,101	96,848
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,080	△7,875
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,697	△443
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	340	△1,721
固定資産売却損益(△は益)	1,072	△450
受取利息及び受取配当金	△2,030	△2,073
保険解約損益(△は益)	△479	△2,822
支払利息	7,616	7,618
売上債権の増減額(△は増加)	△6,663	482,423
棚卸資産の増減額(△は増加)	44,398	△155,406
未収入金の増減額(△は増加)	6,325	43,032
仕入債務の増減額(△は減少)	142,764	△199,750
未払金の増減額(△は減少)	2,835	△91,950
未払費用の増減額(△は減少)	10,338	△9,241
その他	11,883	△50,360
小計	412,693	462,659
利息及び配当金の受取額	2,030	2,073
利息の支払額	△8,709	△8,400
法人税等の支払額	△8,305	△177,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,709	279,149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	39,000
有形固定資産の取得による支出	△149,997	△65,629
有形固定資産の売却による収入	2,422	124
投資有価証券の取得による支出	△478	△478
保険積立金の払戻による収入	1,187	5,847
その他	△15,719	△9,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,584	△30,449
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△223,060	△262,553
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11,295	△12,519
社債の償還による支出	△104,640	△104,640
配当金の支払額	△110	△120,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,106	△500,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,309	△26,223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,673	△277,788
現金及び現金同等物の期首残高	3,519,393	4,006,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,451,719	3,729,208

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、金型売上の一部について一定期間で収益を認識しておりましたが、一時点で収益を認識する方法に変更しております。

また、顧客からの有償受給取引について、従来は、原材料等の仕入価格を含む顧客からの対価の総額で収益を認識しておりましたが、原材料等の仕入価格を除いた純額で収益を認識することといたしました。

さらに、製造の過程で生じる作業くずの売却収入についても、従来は営業外収益として認識しておりましたが、売上高として計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は492,132千円、売上原価は497,711千円それぞれ減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益、期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,091,816	115,246	169,822	97,450	2,474,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	203,090	2,346	31,157	46	236,641
計	2,294,907	117,593	200,980	97,496	2,710,976
セグメント損失(△)	△25,570	△38,697	△53,430	△1,751	△119,449

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△119,449
セグメント間取引消去	△23,867
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△143,316

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
自動車用部品	1,785,408	278,769	393,343	156,085	2,613,606
非自動車用部品	470,286	373	21,653	—	492,313
顧客との契約から生じる収益	2,255,694	279,142	414,997	156,085	3,105,920
外部顧客への売上高	2,255,694	279,142	414,997	156,085	3,105,920
セグメント間の内部売上高又は振 替高	332,260	1,655	73,614	4,173	411,703
計	2,587,954	280,798	488,611	160,258	3,517,623
セグメント利益又は損失(△)	124,288	△13,037	33,621	8,789	153,661

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,661
セグメント間取引消去	4,243
四半期連結損益計算書の営業利益	157,904

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比べて、「日本」の売上高は492,817千円減少しております。なお、セグメント利益又は損失(△)に対する影響及び他の報告セグメントの売上高に対する影響は軽微であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 販売実績の状況

当第1四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第1四半期 連結累計期間 (千円)	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	884,813	1,127,052	27.4	4,958,980
	ウインドウレギュレーター用部品	250,903	260,795	3.9	1,889,802
	ロック用部品	106,462	106,003	△0.4	528,049
	エンジン用部品	465,277	490,960	5.5	2,148,437
	足回り用部品	250,086	227,447	△9.1	1,200,158
	その他	302,258	401,347	32.8	1,498,646
	小計	2,259,802	2,613,606	15.7	12,224,073
その他	214,532	492,313	129.5	1,559,326	
合計		2,474,335	3,105,920	25.5	13,783,400

主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	539,615	21.8	477,094	15.4	3,125,634	22.7

(注) 会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用しております。この結果、従来の方策によった場合と比べて、当第1四半期連結累計期間の販売高は492,132千円、シロキ工業株式会社の当第1四半期連結累計期間の販売高は307,840千円減少しております。